

## (1)保存地区の概要

地区名 矢掛町矢掛宿

種別 宿場町

面積 約11.5ヘクタール

選定年月日 令和2年12月23日



左上:旧矢掛本陣  
石井家住宅  
左下:旧矢掛脇本陣  
高草家住宅  
右:江戸時代から続く  
専教寺小路

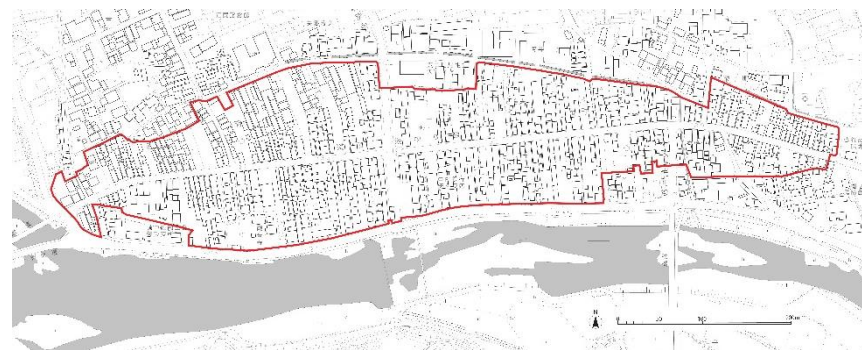


## 特徴

「本陣・脇本陣が揃って残る山陽道の宿場町」

山陽道の宿場町として栄え、街道沿いには江戸時代後期までに形成された地割に、妻入と平入の町家が混在した変化ある屋並みが見られる。

江戸時代の旧本陣と旧脇本陣が国の重要文化財に指定され揃って残るのは全国唯一で、漆喰塗込の重厚な町家等、江戸時代から近代に建てられた伝統的建造物が良く残り、山陽道の宿場町の歴史的風致を良く伝える。

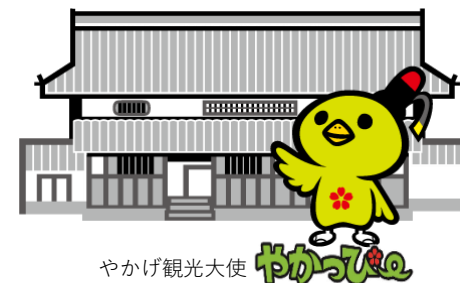


保存地区の範囲

## (2) 保存地区の歩み

- 昭和44年 本陣・脇本陣の主要建物が重要文化財の指定を受ける
- 昭和51年 第1回矢掛の宿場まつり大名行列開催
- 昭和57年 旧矢掛脇本陣高草家住宅解体修理(～昭和61年)
- 昭和61年 旧矢掛本陣石井家住宅解体修理(～平成3年)  
矢掛町矢掛宿伝統的建造物群保存対策調査実施  
(～平成元年)
- 平成3年 旧矢掛本陣石井家住宅一般公開開始
- 平成4年 備中矢掛宿の街並みをよくする会発足
- 平成5年 岡山県町並み保存地区指定  
第1次街並み景観整備事業実施(～平成9年)
- 平成14年 第2次街並み景観整備事業実施(～平成19年)
- 平成22年 矢掛町が「ルネサンス夢街道」認定をうける  
(国土交通省中国地方整備局)
- 平成25年 備中矢掛宿の街並みをよくする会が「住まいのまちなみコンクール」国土交通大臣賞受賞  
(株)やかげ宿設立
- 平成26年 やかげ町家交流館(旧谷山邸)オープン
- 平成27年 矢掛屋・備中屋長衛門オープン

- 平成28年 無電柱化調査実施
- 平成29年 民間施設「矢掛豊穰あかつきの蔵」オープン  
矢掛町矢掛宿伝統的建造物群保存対策調査  
(再調査)実施
- 平成30年 矢掛町、矢掛屋がアジア初のアルベルゴ・ディ  
フーズ認定
- 平成31年 矢掛町伝統的建造物群保存地区保存条例制定
- 令和2年 矢掛町矢掛宿伝統的建造物群保存地区決定  
(6月)  
矢掛町矢掛宿伝統的建造物群保存地区保存活  
用計画策定(6月)
- 令和2年 重要伝統的建造物群保存地区選定(12月)
- 令和3年 本陣・脇本陣間を主とする重点区間(計510m)  
の無電柱化工事実施  
矢掛ビジターセンター問屋(旧齋藤邸)オープン



## (3) 保存地区の保存と整備

保存地区中心部の本陣・脇本陣間と、保存地区に隣接する「道の駅山陽道やかげ宿」周辺の無電柱化が、令和3年、官民連携により実施。(計510m)。



写真左：  
矢掛ビジターセンター  
問屋前

写真右：  
旧矢掛本陣前

無電柱化区間にあわせて、舗装高質化工事を実施し、景観の向上を図った。

修理修景事業については、今後取り組み、保存地区の景観のさらなる回復に努めていく。

## (4) 保存地区の活用とまちづくり

- ・「道の駅山陽道やかげ宿」との連携: 保存地区に隣接する「道の駅山陽道やかげ宿」のコンセプトは「矢掛まるごと道の駅」。当該施設に 飲食や物販のコーナーを設けず, 保存地区にあたる商店街を利用してもらうことで一体のにぎわい創出を目指している。
- ・古民家再生事業と観光推進によるまちづくり: 保存地区内にあるやかげ町家交流館, 宿泊施設矢掛屋を出発点に古民家再生に取り組んできた。令和3年3月には明治期に建築の古民家を改修した「矢掛ビジターセンター問屋」がオープン。矢掛町観光交流推進機構(やかげDMO)の事務所が入り, 矢掛町全体の観光推進の核を担っている。
- ・出前講座や町並み写生大会(子供向け行事)の実施による普及啓発と機運の醸成



## (5) 住民等の取組

- ・「矢掛の宿場まつり大名行列」は45年以上の歴史を持つ, 矢掛町最大のイベント。秋の風物詩となっている。(11月第2日曜日)

- ・令和4年2月に「やかげまちづくり会議」を開催しました。当日は, 岡山大学地域総合研究センター岩淵准教授のコーディネートで町長, 住民団体代表, 地元高校生が, 住民目線でまちづくりを振り返り, 更なる発展に向けて意見を交換しました。

